

～新たな道路でつくる福島地域の未来～



参加
無料

東北中央自動車道を
活用した

地域連携・ 交流 シンポジウム

2020年

2月4日(火)

13:30-15:30 受付開始 13:00

相馬市民会館 大ホール

福島県相馬市中村字北町51-1 TEL.0244-35-2426

東北中央自動車道 福島～米沢間及び相馬福島道路の開通を契機に、福島県北の地域連携を実現させるためには、市町村や県、国が中心となり、市民やその他様々なまちづくり関係者等の共通理解を深めることが必要不可欠です。

そのため、本シンポジウムでは、道の駅などの「地方創生の拠点」を活用した連携活動の取り組み事例を紹介するとともに、多様な連携活動等の可能性について意見交換を行います。



基調講演

道の駅 第3ステージ ～地域と道路の新たな連携～

〈講師〉

日本大学特任教授・筑波大学名誉教授

石田 東生 氏

1974年 東京大学土木工学科卒業、1982年 筑波大学社会学にて教員。2017年 退職。主な社会活動として、内閣府 未来投資会議 次世代モビリティ産官協議会、国土交通省 社会資本整備審議会 道路分科会長、道の駅有識者懇談会 座長を務める。専門は、社会資本政策、交通政策、国土計画。



パネルディスカッション

相馬福島道路(東北中央自動車道)を 活用した多様な連携を考える

〈コーディネーター〉 日本大学特任教授・筑波大学名誉教授

石田 東生 氏

〈パネリスト〉 福島市長

木幡 浩 氏

奥伊予街道七駅物語
事業推進協議会 会長

松本周作 氏

相馬市長

立谷 秀清 氏

(株)東北地域環境研究室
代表

志賀 秀一 氏

伊達市長

須田 博行 氏

(株)リクルートライフスタイルじゃらんリサーチセンター
チームリーダー(福島・北関東・千葉チーム)

福山 佳与子 氏

〈主催〉 国土交通省 東北地方整備局

東北中央自動車道を活用した 地域連携・交流シンポジウム

～新たな道路でつくる福島地域の未来～

パネルディスカッション参加者の紹介



コーディネーター

石田 東生 氏

日本大学特任教授・筑波大学名誉教授



パネリスト

木幡 浩 氏

福島市長



パネリスト

立谷 秀清 氏

相馬市長



パネリスト

須田 博行 氏

伊達市長



パネリスト

松本 周作 氏

奥伊予街道七駅物語事業推進協議会 会長



パネリスト

志賀 秀一 氏

(株)東北地域環境研究室 代表



パネリスト

福山 佳与子 氏

(株)リクルートライフスタイルじゃらんリサーチセンター
チームリーダー(福島・北関東・千葉チーム)



定員
300名
定員に達し次第
受付終了

申込方法

- ①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤FAX番号 ⑥Eメールアドレス
⑦参加希望者の氏名を記入の上、FAXでお申し込みください。

※申込者多数の場合は、先着順とさせていただきます。

申込先 **地域連携・交流シンポジウム事務局**
(委託:一般財団法人 日本みち研究所)

受付時間 **10:00～17:00**(土日祝をのぞく)

FAX参加申込書

FAX **03-5621-3153**

申込締切 **令和2年1月31日(金)まで**

代表者連絡先

住所 〒 	
氏名 フリガナ -----	
TEL	FAX
E-mail	

参加希望者の氏名

人数 計 名

人数	計	名

※お申し込みいただいた皆様の個人情報は、個人情報保護法にのっとり管理いたします。※お預かりした個人情報は、本シンポジウムに関連した目的のみに使用し、それ以外の目的では使用いたしません。